

# 徳島文理大学通信

徳島文理大学  
アドミッションズ・オフィス  
徳島市山城町  
〒770-8514  
0120-60-2455

◆春のオープンキャンパス◆  
3月13日(日) 香川キャンパス  
3月21日(日) 徳島キャンパス  
進路が決まっている高校生も進路に悩んでいる高校生も参加をお待ちしています。  
大学ってどんなところ? 働くって? 大学と専門学校の違いは? 資格は? ...? など進路について一緒に考えてみましょう!!

## 地域医療システム向上への取り組み

### 「香川総合医療教育研究コンソーシアム 第2回フォーラム」

文部科学省  
戦略的大学連携  
支援事業



12月17日(木)、サンポートホール高松で「香川総合医療教育研究コンソーシアム」の第2回フォーラムが開催された。これは、文部科学省の戦略的大学連携支援事業として2008年度に採択された「香川県内の医療系3大学連携事業」の報告会であった。

学(本学、香川大学医学部、香川県立保健医療大学)の学術交流会が、フォーラム行事の一環として開催され、薬・臨床工(これら2つは本学)・医・看護・臨床検査の教員から8件の研究成果の発表があった。異職種の研究内容の発表を聞くことは、その職種の人々の「ものの考え方」を理解する上で極めて重要であり、本連携事業の目的である「チーム医療」を実現するため欠くことのできないもの。

午後には全体会が開催された。事業統括者である本学の桐野豊学長の挨拶から始まり、文部科学省・大学改革推進室長成相圭二氏の特別講演

「大学間連携の推進状況」へと続いた。その中で、成相氏は、大学間の連携ならびに大学と地方自治体との連携の必要性を強く訴えた。その後、香川大学理事・副学長石田俊彦先生より「地域に密着したチーム医療の必要性と医療情報ネットワークの整備」と題しての特別講演があった。

続いて2009年の取り組み状況について報告があった。学生からは3大学を代表して、香川大学医学部4年生原鐵洋さんが、本連携事業によって活発化してきた学生間の交流について報告するとともに、今後の抱負を語った。さらに、3大学間での遠隔講義の現状報告や、香川薬学部が積極的に取り組んでいる「電子処方箋システム」のデモンストレーションなどが行われた。電子処方箋の運用は、調剤薬局の薬剤師が病名や検査数値などを見て、より能動的に医療に携わるために、欠かせない重要なプロジェクトであった。

で見聞きした人も多いことであろう。グラミン銀行は、貧困者に少額の融資を行い、自立を支援しつつ、通常の銀行のように収益を上げていく。英国のゴードン・ロディック氏がホームレスの社会復帰を支援する目的で1991年に始めたビッグ・イシュー(The Big Issue)もそうである。東京や大阪に行くと、路上で同名の雑誌を販売するホームレスの人をよく見かける。また、本学の「公開講座2009」の講師、枝廣淳子氏が主宰する「有限会社イーズ」も地球環境問題に取り組む社

界人口約67億人のうち、10億人は飢餓にさらされているという。特に、サハラ砂漠以南のアフリカ諸国の子どもたちは十分な食事ができずに飢えに瀕している。この二つの問題を同時に改善しようとするのが「Table for Two」(TFT)である。先述の「シンドロームX」と呼ばれている。こうした病気を予防するためには、適切な運動とカロリー過多に陥らないヘルシーな食事が最も重要である。一方、世



最近、社会事業(英語ではSocial Business)、社会的企業(Social Enterprise)、社会起業家(Social Entrepreneur)という言葉が耳にすることが多くなつた。これらは、社会問題の解決を目的とした持続的な収益事業を指す。

1983年にバンングラデシユで、ムハムド・ユマスの氏(2006年度ノーベル平和賞受賞)が創設したグラミン銀行のことをTV等

## 社会事業「Table for Two」

学長 桐野 豊

は、「シンドロームX」と呼ばれている。こうした病気を予防するためには、適切な運動とカロリー過多に陥らないヘルシーな食事が最も重要である。一方、世

「Table for Two」(TFT)という社会事業プログラムである。これは、先進国の企業社員食堂などでカロリーを抑えたヘルシー・メニューを提供してもらい、その

優れた国際貢献社会事業として注目されている。その辺の事情は木暮氏の著書『20円で世界をつなぐ仕事』に詳しい。

この趣旨に賛同し、本学の学生食堂でもTFTプログラムを実施することとした。香川キャンパスでは既に12月からスタートしており、徳島キャンパスでも近々スタートする予定である。現在のところ、香川キャンパスの学生食堂では、TFTメニューとして、毎週水曜日に430円のヘルシーなランチを提供している。このうちの20円が週に一回まとめられて、NPO法人「TFT International」に送られ、同社から、ケニア、ウガンダ、マラウイの子どものための学校給食として寄贈される。

## =快学=

### 日本薬学会の最高賞「日本薬学会賞」を受賞

薬学部 西沢妻夫教授



今春、西沢妻夫教授(薬学部)が受賞されることになった。「日本薬学会賞」は、日本薬学会の最高賞である。

中でも全く新しい免疫活性化剤「ザンチン」(眉山にちなんで命名)の開発に関する研究は、その実用化に向けて大きく進展しており、今後ますますの発展が期待されている。地方の私立大学薬学部の教員が「日本薬学会賞」を受賞することは、これまでほとんど例が無く、大変な快挙となった。

コメント..私共の教室で25年間にわたって、ともに悪戦苦闘してきた数多くの職員、学生諸君、および学内外の共同研究者諸氏の努力の賜であり、その奮闘に改めて感謝し、敬意を表したいと思います。また、薬学部の諸先生方には、とりわけ近年、多大なご迷惑をお掛けしておりまして、この場をお借りして、お詫び申し上げます。

## 地域の発展を願って

徳島文理大学公開講座2009

7回にわたって実施した公開講座(無料・参加自由)が無事に終了した。この講座は、本学が知の拠点として地域の発展に寄与しなればならないという使命を果たす目的で、各界で活躍する著名人を招いて2007年度から実施している。各講演後には、討論や質問を受け付ける時間を設けた。2009年度実施の講座は次のとおり。

第1回4月24日(金)  
「グローバル化社会における元気な企業経営と「?」―柳良雄氏(「柳アソシエイツ」代表取締役兼CEO)

第2回6月4日(木)・5日(金)  
「良い人脈づくりと少しのスキルアップで時代を生き抜く」森正彦氏(株式会社)

第3回6月29日(月)  
「本日の幸せと地球のためにすべきこと、できること」枝廣淳子氏(有イーズ代表取締役)

第4回7月13日(月)  
「今、ネットが変えようとしている世界」須田将啓氏・田中慎人氏(「エニグマ」代表取締役 共同最高経営責任者)

第5回7月17日(金)  
「日本経済・W型の時代のLUV型議論」ロバート・アラン・フェルドマン氏(モルガン・スタンレー証券(株)経済調査部長 兼マネージング・ディレクター)

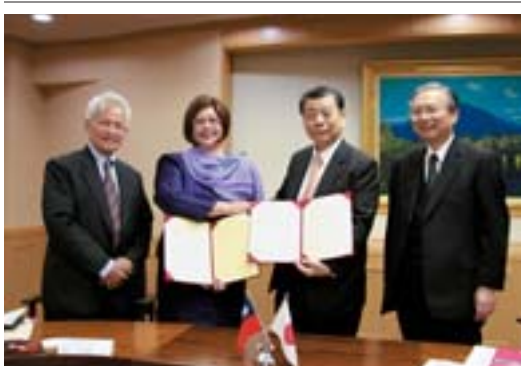
第6回11月3日(火)  
「記憶のしくみ―アセチルコリンと薬の不思議な関係」池谷裕二氏(東京大学大学院薬学系研究科准教授)

第7回11月4日(水)  
「神経活動を映像で捉える―脳の揺らぎの意味を巡って」池谷裕二氏(同)

## 台湾「新民高級中学」との「海外高大連携協定」調印なる!

12月11日(金)、台湾の高級中学(日本の高等学校)との「海外高大連携協定」の調印式が、「新民高級中学」劉昭恵(Uiu Chao-ai)理事長、莊弘雄(Chuang Hon-ung)校長一行を本学徳島キャンパスに迎え、厳粛な中にも和やかな雰囲気で行われた。当日は小雨の中、徳島キャンパスの学生食堂では、TFTメニューとして、毎週水曜日に430円のヘルシーなランチを提供している。このうちの20円が週に一回まとめられて、NPO法人「TFT International」に送られ、同社から、ケニア、ウガンダ、マラウイの子どものための学校給食として寄贈される。

学生の皆さんもぜひ食事という身近な行為から、社会問題となつてきている健康と飢えについて考え、国際貢献を果たしましょう。



調印式終了後、一行は、本学村崎正人理事長の案内で、各種施設を見学した。特に音楽学部では、材に大きな興味を示し、定期演奏会直前のリハーサル風景を予定時間をやや超過するほど熱心に見学した。

劉昭恵理事長、莊弘雄校長一行は、今後の本学との密接な交流を祈念し、本学理事長と固い握手の後、本学を後にした。



年の始めは未来を考え、一年の計画をするのに良い機会とされてきた。では、100年前、50年前の日本人は、どのような未来を年頭に願っていたのだろうか。

1910年(明治43年)元日の東京朝日新聞には、「平和の新年」と題し、日本人は(日露戦争の終結で)平和を造り出してわずかに5年目で、平和を味わい足りていない。世界の平和を守り、平和の永続による幸福を希望してやまない、とある。しかし、4年後の第一次世界大戦を経て、20年余りの日本は戦争の時代へと足を踏み入れていく。

次に、1960年(昭和35年)元日の朝日新聞(東京本社版)「天声人語」欄には、きょうからの10年間は「黄金の60年代」と呼び、曲がりかどを回るとパツと明るく日当たりの野原に生まれそなたが育つ、とある。期待のとおり、その後の日本は高度成長時代を邁進し、8年後には世界第2位の経済大国となる。

さて、2010年の私たちはどのような未来を展望するのか。100年前、50年前の日本人が願った「平和」や「豊かさ」は、これからも大切にしていかなければならない価値だろう。

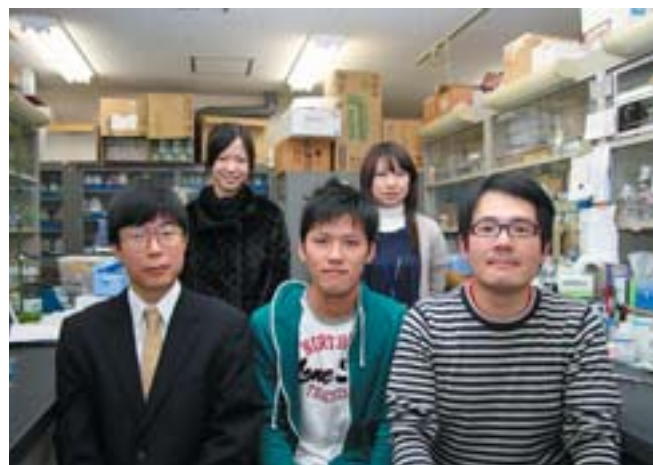
幸い東西の対立構造が解消し、世界核戦争の恐怖は当面去った。人々の豊かさは経済の大変動を被りながらも、技術革新に支えられ、着実に進展している。一方、地球環境問題は世界がともに取り組んでいかなければならない最大のテーマだ。また、人口減少と超高齢化は、日本の未来像を描く上で不可避の条件になる。

今年めでたく成人の日を迎える学生の皆さんをはじめ、それぞれが一年の幸せを願うにあわせて、未来に思いを馳せてみてはどうだろうか。

# 表彰に輝く

- 瑞宝双光章 大岡 裕子 准教授
- 栄養士養成成功者表彰 村崎 正人 理事長
- 日本薬学会賞 西沢 麦夫 教授
- 日本薬学会教育賞 佐藤 政男 教授
- 第6回Jack Cannon Gold Medal 浅川 義範 教授
- 平成21年度硬組織再生生物学会功労賞 中華民國98年(平成21年)度中山医学大学優秀卒業生賞(学術類)表彰 瀬津 弘順 教授
- 日本比較生理生化学会・第18回吉田奨励賞 島山 大 講師
- 平成21年度日本薬学会中国四国支部奨励賞 末永みどり 助教
- 平成21年度第45回徳島新聞賞 科学賞 津下 英明 教授

## 緑茶カテキンがインフルエンザウイルスに効くことを薬学部生が発見!



新型インフルエンザが世界中で流行している。過去には1918年のスペイン風邪で1000万人以上の人が死亡した例もあり、十分な備えが必要である。インフルエンザはインフルエンザウイルスによって引き起こされる病気で、ウイルスが有する酵素RNAポリメラーゼによってウイルスの遺伝子の転写と複製が行われる。この酵素の中には核酸(DNA・RNA)を分解する

総務大臣感謝状 阿部 頼孝 教授

2009年アメリカがん学会百回記念大会奨励賞 Saha Achinto 氏

日本計算統計学会ソフトウエア賞(開発賞) 山本 由和 准教授

小林 郁典 准教授

10月本学に主幹事務局、11月から四国学院大学と高松大学にサテライト事務局が開設され、文部科学省の大学教育充実のための戦略的連携推進事業「教員養成コンソーシアム四国」が開始することとなった。さらに推進委員会、運営部会の運営体制が確立され、具体的な取り組みが推進されることとなった。

### 教員養成プロジェクトに文科省が支援

フオリオの活用と「GPA方式による成績評価」に関する研修を実施し、教員をめざす学生へのきめ細かな指導と厳格な評価に生かす。○教職員と学生、地域の小学校教員を対象とした「小学校における外国語活動」に関する研修を実施して指導方法や教材を共同で開発し、その成果を地域の小学校に還元する。○「伝統や文化に関する教育の充実」について、新学習指導要領に対応したシラバスを共同で開発する。○学校支援地域本部事業との連携、学生ボランティアの活動などの地域連携プログラムの開発に共同で取り組む。○教員養成の視点で高大連携のためのプログラムの開発に共同で取り組む。○模擬授業を取録配信して授業研究を行うなど、教員養成のための講義自動取録・配信システム、テレビ会議システムを活用を推進する。

## 4つの学部で「ひらめき☆ときめきサイエンス」を実施



「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「情報社会論」では人間社会と情報技術の関係を考

活性があり、これがヒトなどの動物細胞のメッセンジャーRNAを分解する。この分解活性がウイルスのゲノムの転写に必要であり、この分解酵素を阻害すれば、ウイルスの増殖を阻害できると考えられる。緑茶カテキンによる抗インフルエンザウイルス活性は知られており、このウイルスが細胞から出ていく段階や吸着を阻害すると報告されていたが、その増殖を阻害する分子メカニズムは解明されていなかった。薬学部・生化学教室(葛原教授)4年生の岩井佑磨さんは、インフルエンザウイルスの核酸分解酵素を遺伝子工学により作成し、緑茶カテキンがインフルエンザウイルスの核酸分解酵素を阻害することを試験管内で見出した。また緑茶カテキンの中でも、エピガロカテキンガレートもしくはエピガロカテキンガレートがより阻害することを発見した。今回の結果は緑茶カテキンを基にした抗インフルエンザ薬の創薬などに活用ができるものと期待されている。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「情報社会論」では人間社会と情報技術の関係を考

「情報社会論」では人間社会と情報技術の関係を考

「情報社会論」では人間社会と情報技術の関係を考

「情報社会論」では人間社会と情報技術の関係を考

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の研究室に行こう!は、小・中・高校生に大学の研究室に来てもらい、大学で行われている高度なサイエンスを直接体験してもらおう、という事業である。主催は日本学術振興会、科研究費の研究成果を社会に還元することが目的である。



### 「海外研修」の募集

◎夏期カナダ英語研修  
夏休みを利用して海外で英語を学ぼうという「夏期カナダ英語研修」が昨年も8月3日(月)から23日(日)までの21日間、バンクーバーのランガラ大学で実施され、本場での英語の授業や課外活動、ホームステイなどを体験した。

参加した学生からは「生活習慣や考え方の違いなど、言語以外にも多くの違いがあることを知った」「さまざまな人種、言語に接して国際的に視野が広がり、物事を積極的に考えられるようになった」というレポートが届いている。

今年も今回と同じ時期の実施を検討しているため、昨年参加できなかった人はぜひ参加してほしい。

◎ヨーロッパ芸術研修  
12月16日(水)から25日(金)までの10日間、ヨーロッパ芸術研修費用:48万円

### 「チャレンジ」

インターナショナルサマーアカデミー'09 受講を終えて

音楽学部音楽学科3年 前川裕紀子

ウィーンで行われたインターナショナルサマーアカデミーに本学を代表して音楽学部3年の前川裕紀子さんが参加した。このアカデミーは、ウィーン国立音楽大学が主催する教育プロジェクトの中で最大規模を誇るもので、世界各国から300人以上が参加している。

ラッキーなことに、私はエヴァ・マルトン先生とカタリン・ハルマイ先生に1



(写真上下) 夏期カナダ英語研修(ランガラ大学)

術研修が実施された。有名な絵画や彫刻の実物の見学や、本場の音楽演奏を生で聴くという体験は一生の宝物となったであろう。またクリスマス前の電飾に飾られた素晴らしい街並みも見物である。さらに協定校バウア大学(イタリア)を訪ね、大先輩とパヴァリア訪問地・ミラノ・ベネチア・フィレンツェ・ローマ・ウィーン

◎春期オーストラリア英語研修  
今年2月17日(水)から3月6日(土)の日程で春期オーストラリア英語研修を予定。この研修は2008年に本学と学術交流協定を締結したグリフィス大学のゴールドコースト校で行われ、初めての実施となる。夏のオーストラリアでの有意義な英語研修とホストファミリーとの楽しい思い出が期待

### 「交換留学生」の募集

1年間または半期の交換留学制度で、本学からの留学生は現地での食費を含む滞在費や授業料が免除になるだけでなく、出席日数や単位の読み替えが行われる。異文化をもっと深く体験したい、語学力をもっと身につけたいと思っっている人はこちらの制度をぜひ利用

つたのだと思います。このようなチャンスを与えてくださったすべての方々に心からお礼を言いたいです。この経験をこれからの歌人生にいかし、私の生涯の目標である「歌で世界をパラスにすること」に一步でも近づくことで、この恩を返していこうと思っ



あることを痛感しました。とにかくやってみることに。怖じ気づかずには挑戦し続けること。日々の努力で扉の鍵を開き、ひとかけらの勇気で一歩踏み出し扉を開くこと。それがこの旅で、この講習会で私が学んだことであり、今の私に最も必要なことだ

### 研究活動などをポスターやスライドを使って発表

ポスターセッションコンテスト&プレゼンテーションコンテスト結果



過した14組が、自分たちの考えをまとめ熱意のこもった10分間の発表を披露した。

法に関する研究(1組)  
谷 銀河、吉田有佳里、栗本絵理香(人間生活学部メディアデザイン学科4年)

◎研究活動・地域活性化  
最優秀賞(1組)  
「細胞の不死化に成功!」  
鎌田瑞葉(香川薬学研究科創薬科学専攻2年)

◎「ピア構造による多層基板の伝送特性評価」  
河野寿輝(工学研究科システム制御工学専攻1年)

◎「医療と農業の貢献に繋がる緑虫の可能性と応用を目指す!!」  
村上裕太(工学研究科ナノ物質工学専攻2年)

◎「始動!フリールーズリフ」  
市川 愛、阿部桜子、佐藤真美(人間生活学部メディアデザイン学科3年)

◎「大学生向き栄養バランス弁当の開発」  
柳生真由佳、石井 渚、笠井菜々、野村里美、道上亮子(短期大学部生活科学科1年)

◎「誰でもわかる!キャラクターグラフィック」  
学内エコバッグ推進活動のための調査分析とその表現方

### 鳴りやまぬ拍手

トニーノ氏指揮による第52回定期演奏会

徳島文理大学第52回定期演奏会が、12月12日(土)香川キャンパス村崎サイメモリアルホール、同13日(日)徳島キャンパスむらさきホールで行われた。

今回は一昨年イタリア・ペルーで開催された「ライトプロフィットギターフェスティバル」の中核オーケストラとして本学が招待されたことを縁に、イタリアより高名な指揮者、トニーノ・バッティスタ氏を指揮者としてお迎えした。指揮者のトニーノ氏は厳しがりやのトニーノ氏も、笑顔を絶やさずとなく、温かい雰囲気です学生たちの力を余すところなく引き出して



演奏会では、ヴィヴァルディ作曲のグロリア、ビゼー作曲の「アルルの女」、「カルメン」の二大組曲が演奏された。長い腕のトニーノ氏の指揮から、音楽は、柔らかく、多様な彩りのあるものであった。むらさきホールが色彩豊かな響きと熱気で盛り上がる、カルメンの「ジプシー達の踊り」がアンコールとして再演された。

なお、2010年むらさきホールで行われる主な催物は次のとおり。

- 大学祭期間中の10月16日(金)・17日(土)、香川キャンパス研修センターにおいて、第2回ポスターセッションコンテストと第6回プレゼンテーションコンテストがそれぞれ開催された。
- このコンテストは大学での研究活動や地域活性化アイデアおよび学科紹介などを、ポスター形式やPower Pointのスライドを用いて発表するものである。ポスターには徳島8作品、香川17作品の計25作品を展示し、審査委員による投票と学生・教職員および一般参加者の投票で審査が行われた。一方、プレゼンテーションは応募総数18組から予選審査を通過した10組が、12月11日(金)19時30分、香川キャンパス研修センターにおいて、第2回ポスターセッションコンテストと第6回プレゼンテーションコンテストが開催された。
- 2月9日(火)・23日(火) インターナショナル冬期講習会
- 指揮者のクルト・シユミット教授を迎え指揮法、吹奏楽講座も開講
- 2月20日(土) 第31回平成21年度卒業生ピアノコンサート
- 3月6日(土) 声楽専攻卒業生によるフレッシュコンサート
- 3月14日(日) コーラス講座・キーボード講座修了演奏会
- 3月14日(日) 音楽学部・短期大学部音楽科卒業演奏会
- 3月21日(日) 文理OBオーケストラ第10回定期演奏会

### プレゼンテーションコンテスト 最優秀賞を受賞して

工学研究科ナノ物質工学専攻2年 筒井 絵里

6年前本学に入学生し、先生に勧められて始まったボランティア。ボランティアの経験が無かった私は、普段接することのできなかつた知的障害者の方々と出会うことで、彼らに対し偏見を持つていたことに大きなショックを受けました。しかし、今では私たちは普通の仲のよい友だちになっています。正しい知識を持つことの大切さを改めて実感すると同時に、ボランティア活動はごく普通の、そしてとても身近なものだと気づくことができました。

今回、最優秀賞をいただくまで多くの仲間と一緒に頑張りました。今までの経験が、これからも私を支えてくれると思います。



徳島文理大学短期大学部 プレゼンテーションコンテスト 平成二十一年十月十七日

審査員特別賞(3組)  
◎「医薬品の副作用・相互作用を解決するための薬剤師の役割」  
五條元量、野村和泉、高良美波(香川薬学部薬学科4年)

◎「医療安全管理における薬剤師の役割」  
東原絵里奈、長尾 明、辻 香史(香川薬学部薬学科4年)

◎「6年間レインボーの会に参加して」  
チーム名:レインボーの会 筒井絵里(工学研究科ナノ物質工学専攻2年)

◎「Enjoy! Campus ☆」  
チーム名:まある 曾我部亜紀、田中理沙(人間生活学部人間生活学科学科3年)

◎「文理大学での挑戦と見つけた(宝物)」  
チーム名:市川由香利 市川由香利(人間生活学部心理学科3年)

◎「審査員特別賞(8組)」

審査員特別賞(8組)  
◎「6年間レインボーの会に参加して」  
チーム名:レインボーの会 筒井絵里(工学研究科ナノ物質工学専攻2年)

◎「Enjoy! Campus ☆」  
チーム名:まある 曾我部亜紀、田中理沙(人間生活学部人間生活学科学科3年)

◎「文理大学での挑戦と見つけた(宝物)」  
チーム名:市川由香利 市川由香利(人間生活学部心理学科3年)

◎「審査員特別賞(8組)」

6年間で、私は沢山の経験をし、多くの方と出会うことができました。引つ込み思案で、人前に立つのが苦手だった私も今ではチャレンジ精神旺盛で積極的に動けるようになり、以前の自分よりも少し成長できたかな?と思います。

6年間で、私は沢山の経験をし、多くの方と出会うことができました。引つ込み思案で、人前に立つのが苦手だった私も今ではチャレンジ精神旺盛で積極的に動けるようになり、以前の自分よりも少し成長できたかな?と思います。

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 ENGLISH RECITATION CONTEST

法に関する研究(1組)  
谷 銀河、吉田有佳里、栗本絵理香(人間生活学部メディアデザイン学科4年)

◎「医薬品の副作用・相互作用を解決するための薬剤師の役割」  
五條元量、野村和泉、高良美波(香川薬学部薬学科4年)

◎「医療安全管理における薬剤師の役割」  
東原絵里奈、長尾 明、辻 香史(香川薬学部薬学科4年)

◎「6年間レインボーの会に参加して」  
チーム名:レインボーの会 筒井絵里(工学研究科ナノ物質工学専攻2年)

◎「Enjoy! Campus ☆」  
チーム名:まある 曾我部亜紀、田中理沙(人間生活学部人間生活学科学科3年)

◎「文理大学での挑戦と見つけた(宝物)」  
チーム名:市川由香利 市川由香利(人間生活学部心理学科3年)

◎「審査員特別賞(8組)」

12月11日(金)、香川キャンパス村崎サイメモリアルホールにおいて第1回英語暗誦コンテストが開催された。各キャンパスで予選を勝ち抜いた16人が本選に出場した。本選では、各参加者が詩や演説など6編の作品より1編を選び、暗誦した。厳正なる審査の結果、次の5人が各賞に選出された。



徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 ENGLISH RECITATION CONTEST

### 国際人よ育て

英語暗誦コンテスト

# 徳島から世界へ

## 第1回徳島音楽コンクール開催



打楽器部門(大学・一般)で金賞を受賞した宮崎理沙さん(音楽学部音楽学科4年)

第1回徳島音楽コンクール(本学主催、徳島新聞社共催、徳島県・NHK徳島放送局・四国放送後援)が10月18日(日)、徳島キャンパスで開催された。審査部門はピアノ、声楽、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器、電子オルガン、邦楽器の8部門で、幼稚園(ピアノ)、声楽のみ、小学校から大学一般まで計304人が参加し、日頃の成果を競い合った。徳島県内はもとより四国各県、近畿、東海や東京からの参加もあり、記念すべき第1回目にふさわしいレベルの高いコンクールの結果、各部門の年齢区分ごとに「金賞」「銀賞」

「銅賞」「入賞」「奨励賞」を決定し、徳島音楽コンクール会長である村崎正人本学理事長が全部門の表彰を行った。なお本学の関係者では在学生2人が金賞、2人が銀賞、1人が銅賞を受賞した。

また、全金賞受賞者38人の中から部門ごとに代表1人が選出され、8部門の代表8人が「入賞記念ガラコンサート」に出演。11月28日(土)むらさきホールで開催された同コンサートには本コンクール顧問の飯泉嘉門徳島県知事、松村寛徳島新聞社社長を審査員に迎え、計12人の審査員が審査を行い、もともと優れた演奏者に贈られるグランプリには2人が選出された。

見事グランプリに輝いたのは、本学音楽学部4年生の佐々木綾子さん(ピアノ)と、桐朋学園大学2年生の寺内詩織さん(ヴァイオリン)。グランプリ表彰式では村崎正人会長が「グランプリの受賞を励みとし、徳島から世界へと羽ばたいてほしい」とあいさつ。2人に賞状を手渡して第1回目のコンクールの幕を閉じた。グランプリの2人は本年10月10日(日)に本学むらさきホールで開催される演奏会で一流オーケストラと共演する。

# 就職内定を得て

## その夢の先に

人間生活学部  
メディアデザイン学科  
大塚 拓哉  
高知県庁 電気職



就職活動を通して夢や目標を持つことの大切さを実感しました。

私は、大学2年生の終わりに自分のやりたい仕事を見つけてあげることができました。それまでは漠然と過ごしていた大学生活でして、目標がなかったことで、何をすべきかを考えて積極的に行動するようになり得られた経験が就職活動にもプラスの影響を与えてくれました。

皆さんも、自分が将来就こうとする仕事や夢を見つけてほしいと思います。そして、その夢に向かって努力を続けてください。

## 自信を持って!!

文学部  
コミュニケーション学科  
小川 真和  
愛媛トヨタ自動車株式会社



私は大学3年生の10月から本格的に就職活動を始めました。まずは行動と思い、多くの合同企業説明会に参加しました。そこで得た情報

## 就職活動において



工学部 機械電子工学科  
畑 沙苗  
JA香川県

報を家に持ち帰り、分析し、自分の興味がある業種を絞っていきまいた。また同時に自己分析も徹底的に行いました。自己分析は一人でできません。友人やキャリアサポートグループの方と協力して進めると良いと思います。

しかし、やはり思うようにいかないもので、最終試験にまで進んだにも関わらず不採用になったこともあります。「最終」という文字にどこか安心していた自分が、今になって思い出されます。ですが、不採用になったことに落胆することなく、その理由を分析し、次に繋げるきっかけになったことは大きな財産になっています。

就職活動に不採用はつきものです。結果を真摯に受け止め、決してあきらめず、ことごとく常に前向きな「反省」を繰り返すことで、確実な進路を見出せると思います。

最大の敵は自信を失うことです。笑顔を絶やさず頑張ってください。

就職活動をするにあたって重要なのは、情報収集だと思います。自分の興味のある職種はもちろん、知らない職種についても調べ、自分のしたい仕事を見つけられることも大切です。

私は、主にインターネットを使って情報収集をしました。興味のある企業について調べ、受けたい企業を絞っていました。また、先生やキャリアサポートグループの方に相談し、募集している企業を探すのも貴重な情報源になりました。

企業の情報収集については、ホームページを見るのも大切ですが、説明会への参加や、実際に会社見学に行ってみることもまた重要です。社員の方たちと会話をする中で、その会社の雰囲気を感じることができました。

就職活動を始めたころは、不安がたくさんありましたが、

自分が知る

短期大学部  
言語コミュニケーション学科  
三原 瑠衣  
阿波銀行 一般職



私は就職活動を1年の後から始めました。そのころの私は、このまま順調に就職できるだろうと安易に考えていました。しかし、これからはというときに景気悪化となり、募集がなくなったりと、さらに就職活動が難しくなりました。私たちはどうすることもできず、ただただその現実を受け入れることしかできませんでした。でも、この景気悪化は、私にとってある意味、よい就職活動ができるきっかけになったのかもかもしれません。なぜなら、その時期があったことにより、自分がしたいこと、自分が考えてきたことを考え直すことができたからです。辛い経験でしたが、新しい自分を発見することができました。

報を家に持ち帰り、分析し、自分の興味がある業種を絞っていきまいた。また同時に自己分析も徹底的に行いました。自己分析は一人でできません。友人やキャリアサポートグループの方と協力して進めると良いと思います。

しかし、やはり思うようにいかないもので、最終試験にまで進んだにも関わらず不採用になったこともあります。「最終」という文字にどこか安心していた自分が、今になって思い出されます。ですが、不採用になったことに落胆することなく、その理由を分析し、次に繋げるきっかけになったことは大きな財産になっています。

就職活動に不採用はつきものです。結果を真摯に受け止め、決してあきらめず、ことごとく常に前向きな「反省」を繰り返すことで、確実な進路を見出せると思います。

最大の敵は自信を失うことです。笑顔を絶やさず頑張ってください。

報を家に持ち帰り、分析し、自分の興味がある業種を絞っていきまいた。また同時に自己分析も徹底的に行いました。自己分析は一人でできません。友人やキャリアサポートグループの方と協力して進めると良いと思います。

しかし、やはり思うようにいかないもので、最終試験にまで進んだにも関わらず不採用になったこともあります。「最終」という文字にどこか安心していた自分が、今になって思い出されます。ですが、不採用になったことに落胆することなく、その理由を分析し、次に繋げるきっかけになったことは大きな財産になっています。

就職活動に不採用はつきものです。結果を真摯に受け止め、決してあきらめず、ことごとく常に前向きな「反省」を繰り返すことで、確実な進路を見出せると思います。

最大の敵は自信を失うことです。笑顔を絶やさず頑張ってください。

## 「入賞記念ガラコンサート」 グランプリを受賞して

第1回徳島音楽コンクール

音楽学部音楽学科4年  
佐々木 綾子

10月18日(日)に開催された第1回徳島音楽コンクールは、普段勉強している大学が会場となっていて

ましたので、リラックスして演奏することができました。結果、ピアノ部門の代表として入賞記念ガラコンサートに出演させていただきました。これには大変うれしかったです。代表に選ばれたことへの責任を痛感し複雑な思いでした。そうした思いもあり、ガラコンサートはコンクールとまた違った緊張感があったような気がします。でも「自分が今持っているものを全て出し切ろう」「この曲に込めた思いが聴衆に伝わらいいな」という気持ちで演奏に臨みました。グラ

ンプリ発表の瞬間は信じられない思いでした。が、今は一流オーケストラと共演するという素晴らしい機会を与えていただいたことに本当に感謝しています。そしてこれを励みとし、将来いろいろな人に癒しを与えられる演奏家になれるよう一層努力していきたいと思っています。



したが、企業研究をしつかりすることで自信ができて、面接でも自分の意見をしっかりと伝えられました。たくさんの企業の中から自分に合う会社を見つけ、自分自身の行動に満足できるように頑張ってください。

**同窓会会員  
相互の親睦と  
母校との絆深める**

アカンサス会に徳島県支部、  
香川県支部設立

アカンサス会とは、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部同窓会の名称で、現在、6万2千人を超える会員がいます。この度、会員相互の親睦を図り母校との絆を深める目的で、大学キャンパスがある徳島県と香川県に支部を設立することにいたしました。

12月12日(土)に香川県支部、12月13日(日)には徳島県支部設立総会を開催し、支部設立後は、各支部において会員相互の交流を深める

夏休みを利用して、東京でのインターンシップ(就業体験)に参加しました。初日は導入の講座でしたが、2日目からは他大学の



アカンサス会とは、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部同窓会の名称で、現在、6万2千人を超える会員がいます。この度、会員相互の親睦を図り母校との絆を深める目的で、大学キャンパスがある徳島県と香川県に支部を設立することにいたしました。

12月12日(土)に香川県支部、12月13日(日)には徳島県支部設立総会を開催し、支部設立後は、各支部において会員相互の交流を深める

## インターンシップ体験記

人間生活学部メディアデザイン学科3年 山田 圭一

教員採用試験に合格して  
「来年、先生になることを  
考えて勉強しました」

人間生活学部児童学科4年  
上野 貢大



中学生のころから「先生」になることに憧れていました。漠然としていた先生という夢も高校生の時に小学校の先生になりたいと思う気持ちが強くなりました。真剣に教員採用のための勉強を始めたのは3年の9月からです。8月に行った保育実習先の先生からも「先生になった方がいいよ」と言われたのをきっかけにスイッチが入りました。

それからは、一生懸命勉強に取り組みました。今思えば教員採用試験対策の試験勉強ではなく、実際に生徒と接したときのことを想定して勉強したことが良かったと思います。生徒に接したときにできないことは恥ずかしいと思いますし、申し訳ないと思います。教師になるためにどうしたらいいかわからず、教師にな

るのだからこれだけはしておかなくてはと常に考えて勉強しました。モチベーションが下がったときには、実習でお世話になった保育士さんや先生と触れ合ったり保育士の方と話したりして元気をもらいました。そして、「僕も先生になりた」と宣言することで自分を奮い立たせました。

良い友人や先生に恵まれたことにも感謝しています。たわいもない話や進路の話や真剣に聞いてくれた友人や、勉強で分からないことなどがあるといつでも指導してくださる大学の先生方、私を支えてくださった全ての方に感謝です。

教員をめざす皆さん、ぜひ脇目もふらず努力してください。しっかりとやっていれば道は必ずと開かれると思います。

大学院生とペアを組んでのグループワークに取り組み、最終日に成果プレゼンテーションを行いました。活動を通じて感じたのは、日常生活や大学での学び、部活動での経験が自分にとって実践的な力になっているということ。下宿生活で家事をきちんとこなせるようになったこと、授業の一環で取り組んだ商品開発プロジェクトでの調査・企画・開発やプレゼン

の技術、軽音楽部の部長としてみなをまとめた経験など、すべてが役に立ちました。期間中の成長とプレゼンが評価され、成果発表では個人賞をいただきました。また、インターネットに関する仕事をやってみたい、という明確なビジョンを得ることもできました。

残りの学生生活で悔いの残らないように活動し、就職という新たな一歩を踏み出したいと思っています。

# おとぎのくんと

第26回「おとぎのくに」が、12月11日(金)の午前と午後の2回に分けて開催された。短期大学部保育科の学生が附属幼稚園や近隣の保育所の園児を招待して、ミ



ユー・ジョカルなどを上演する恒例行事である。今年も新型インフルエンザ大流行のあおりを受け、例年の半分の350人の参加者であったが、会場は子どもたちの歓声に包まれて大いに盛り上がった。

今回、初挑戦のプログラムは「お手玉」である。童謡などに合わせてお手玉をしながら踊るもので、「お手玉舞踊の会」の講師の指導を受けて数か月間練習した成果を披露した。伝統的な遊びを学生の現代的なセンスでアレンジしてあり、お手玉を

見たことのない子どもたちも興味深そうに見ていた。ミュージカルでは「エコ」をテーマにし、学生たちが意見を出し合って創作した。ゴミを出さないことや分別の大切さなどのメッセージを盛り込みながら、歌やダンスも楽しめる作品に仕上がった。特に、身体中にお菓子や弁当の空き箱をつけたゴミおぼけが「スリラー」を踊るシーンは圧巻で、子どもたちは大喜びであった。

そのほかのプログラムは、ブラックシアター、ダンス、合唱、クワイアチャイムを取り入れた音楽劇である。1年生と2年生が一つになって取り組んだこの行事を通して、学生たちは一回り大きく成長したように感じられる。

## ハーネス連から感謝状をいただく

私たち徳島文理大学連は、約100人の連員から成り立っており、また連員のうち6割が県外出身者で、徳島県に来て初めて阿波踊りに触れたという人もたくさんいます。私たちは毎週火・木曜日の練習で、楽しく元気に阿波踊りの技術を磨いています。

昨年の夏本番の阿波踊りでは、初日の8月12日(水)に



市役所前演舞場で、ハーネス連様と一緒に踊らせていただきました。ハーネス連様は、視覚障害のある方と、それを支える盲導犬とで編成された連です。

ハーネス連様は、本番でも力強く笑顔で踊り、人も動物も阿波踊りを心から楽しんでいました。そんな姿に刺激をもらい、私たちも若さあふれるパワーで踊り鳴らせたことができた。昨年9月には、ハーネス連様から感謝状をいただき、絆を深めることができました。

晴らしさをたくさんの人に知ってもらえるように、「まはな・はる・フェスタ」の7連覇をめざして、日々練習に励んでいきたいと思

います。そのほかのプログラムは、ブラックシアター、ダンス、合唱、クワイアチャイムを取り入れた音楽劇である。1年生と2年生が一つになって取り組んだこの行事を通して、学生たちは一回り大きく成長したように感じられる。

また、このような成功は多くの方々の支えがあってこそのもので、ご協力いただきました地域の皆様、関係者の皆様には、心よりお礼申し上げます。

最終日の後夜祭では、地元ロックバンド「kanon」のライブとパルーンリリーが行われ、感動のフィナーレで山城祭を締めくくることができました。

ご来場いただきました皆様ありがとうございます。小さなお子様から高齢の方まで、全ての方々に楽しんでいただけたことを嬉しく思っております。

また、このような成功は多くの方々の支えがあってこそのもので、ご協力いただきました地域の皆様、関係者の皆様には、心よりお礼申し上げます。

私たちが幾度も困難を乗り越えることができました。杏樹祭が心に残るものとなったのは、杏樹祭を最後まで見守り支えてくれた全ての皆様のおかげです。

丸山和也氏のトークショーを通して学生・地域の方々とふれあいを持つことができ、竹原ひろみさんによる郷ひろみそっくりモノマネショーでは、笑いとお声かけが巻き起こりました。

情熱の歌姫「★K★」、コワモテジャズユニット「DEXTER」は、音楽で杏樹祭を盛り上げてくださり、ダンスとよきこのライブでは、会場全体が一体となって踊り騒ぐことができました。

杏樹祭を楽しんでくれてる人を見るたび、杏樹祭を成功させようという思いを抱いて頑張ってきた皆の努力が報われたように感じ、自然と笑顔がこぼれました。

私たちが幾度も困難を乗り越えることができました。杏樹祭が心に残るものとなったのは、杏樹祭を最後まで見守り支えてくれた全ての皆様のおかげです。

私たちが幾度も困難を乗り越えることができました。杏樹祭が心に残るものとなったのは、杏樹祭を最後まで見守り支えてくれた全ての皆様のおかげです。

### 山城祭を終えて

第45回山城祭は、10月23日(金)から25日(日)の3日間を通して天候に恵まれ、企画したイベントが全て順調に進み無事成功裡に終わることができました。

初日には、ギター弾き語りの「日高ロンドン出身」をゲストに迎え、ユーモアあふれる演奏で、笑いあふれる野外ステージのライブとなりました。

24日には、「クイズインク」が文壇王決定戦があり、豪華賞品をめぐる白熱したクイズ大会になりました。

また、目玉企画であるガールズロックバンド「ステレオボニー」を迎えた芸能ライブでは、大変盛り上がり

ました。最終日の後夜祭では、地元ロックバンド「kanon」のライブとパルーンリリーが行われ、感動のフィナーレで山城祭を締めくくることができました。

ご来場いただきました皆様ありがとうございます。小さなお子様から高齢の方まで、全ての方々に楽しんでいただけたことを嬉しく思っております。

私たちが幾度も困難を乗り越えることができました。杏樹祭が心に残るものとなったのは、杏樹祭を最後まで見守り支えてくれた全ての皆様のおかげです。

### 杏樹祭を終えて

10月16日(金)から18日(日)の3日間、「必笑」をテーマとして開催した第24回杏樹祭は、多くの方々の笑顔に包まれて成功を収めることができました。この3日間

でたくさんの方々の「笑顔」に出会えたことが、私たちが杏樹祭実行委員会にとって何よりの喜びとなりました。

丸山和也氏のトークショーを通して学生・地域の方々とふれあいを持つことができ、竹原ひろみさんによる郷ひろみそっくりモノマネショーでは、笑いとお声かけが巻き起こりました。

情熱の歌姫「★K★」、コワモテジャズユニット「DEXTER」は、音楽で杏樹祭を盛り上げてくださり、ダンスとよきこのライブでは、会場全体が一体となって踊り騒ぐことができました。

杏樹祭を楽しんでくれてる人を見るたび、杏樹祭を成功させようという思いを抱いて頑張ってきた皆の努力が報われたように感じ、自然と笑顔がこぼれました。

私たちが幾度も困難を乗り越えることができました。杏樹祭が心に残るものとなったのは、杏樹祭を最後まで見守り支えてくれた全ての皆様のおかげです。

私たちが幾度も困難を乗り越えることができました。杏樹祭が心に残るものとなったのは、杏樹祭を最後まで見守り支えてくれた全ての皆様のおかげです。



山城祭



杏樹祭

今回で3年目となったイルミネーション点灯式が徳島キャンパスで11月30日(月)に、香川キャンパスでは12月8日(火)にそれぞれ開催された。徳島キャンパスでは桐野学長の挨拶の後、村崎理事長、桐野学長、学生代表保育科2年金山紘子さんの3人により司会と観客のカウントダウンにあわせて点灯のスイッチが押された。キャンパスは前回よりも10万球増えた34万球のLEDで輝き、点灯式に詰めかけた近隣住民の方や学生など約1000人の歓声が沸き起こった。幻想的に彩られた中、Bunriハンデルクワイアと音楽学科電子楽器専攻の学生によるクリスマスコンサートが行われ点灯式を盛り上げた。

## クラブ・サークル 紹介

剣道部(徳島キャンパス) 私たち剣道部は、月・水・金・土の週4回、体育館一階で師範の勝沼先生、米倉先生、顧問の野間先生のご指導のもと、日々稽古に励んでいます。部員数は、香川キャンパスやマネージャーを含め、男子13人・女子14人の27人で、現在は幹部交代をし、1・2年生が主に活動しています。

今年こそは...と全国大会出場を叶えようと団体戦・個人戦とも試合に臨んだ。個人戦とも試合に臨んだ。個人戦とも試合に臨んだ。個人戦とも試合に臨んだ。

完成した部誌は部室前やサポーターセンター1階に置いてあります。部室の前に置いてある雑誌は自由に持ち帰ってもらっています。これからも学生だけでなく、一般の皆さんにも楽しんでいただけるように日々努力していきます。



剣道部



文芸部

文芸部は、毎日部員36人で主に部室で活動しています。活動内容としては年に3回、公式雑誌を発行しています。まず、年度最初に発行される『異彩』。これはゴールデンウィーク明けに編集され、6月ごろ発行されます。次に杏樹祭に合わせて夏休み明けから製作される『香泉』杏樹祭号。そして卒業生の最後の作品が載る『香泉』卒業生号。これは1月〜3月ごろにかけて製作しています。

個人的なメンバーばかりですが、そこから生まれる作品は読者を楽しませることができるよう部員同士で批評し合っています。製作期間中以外は部室で読書や雑談をしています。学年、男女問わず仲が良く、笑い声の絶えない部室です。

訂正 大学通信第58号5面「遍路道をクリンアップ」の記事中、「平成11年4月の開設」は誤りでした。正しくは、「平成12年4月の開設」です。おわびして訂正します。

クラブ・サークル 大会結果

- 準硬式野球部
- ・四国地区大学準硬式野球 秋季大会優勝
- 女子バレーボール部
- ・四国大学バレーボール秋季リーグ戦大会3位

